

山本善之著「船舶の強度と安全」

電子出版の趣旨

日本船舶海洋工学会は、これまで顕著な多くの業績により学術と産業への双方への大きな貢献をしてきた。これらの業績は、長い年月をかけて、理論的考察、実験などを積み重ねて築かれ、その発表も様々な場に部分ごとになされるなど、まとまったかたちでは見ることができない。その足跡を残すことはきわめて貴重であるが、教科書や著書として公刊しても出版部数が限定されるなどの不都合が大きい。そのため、貴重な業績の記録として、研究者本人の監修によってこれら貴重な業績をまとめて電子出版とすることとした。

今回は、東京大学名誉教授 山本善之先生の「船舶の強度と安全」を取り上げる。海難と船体強度の問題は古くから取り上げられてきたが、山本先生は 1970 年代後半から 1980 年代にかけて、波浪中での船体の強度に関する研究を精力的に進められ、貴重な成果を得られた。理論と実験の両面から一つの体系を作り上げ、現在でも設計に利用されるなど実用的価値も高い。また、近年は船舶の事故に関連して、第二次大戦期の軍艦の防御なども考察を展開している。この業績は永く後世に伝えるべきものであり、ここに学会として出版を企画した。

この出版に際して、下記の出版社から快く転載許可を戴いた。ここに記して謝意を表す。

日本造船研究協会  
(社)日本船長協会

International Union of Theoretical and Applied Mechanics

ISP

日本造船学会  
関西造船協会  
防衛技術協会  
東京大学

平成 21 年 5 月 16 日

日本船舶海洋工学会 出版委員会